

科目名	現代文	学年	2年	コース	全	単位数	2	担当者	前田 麻里
-----	-----	----	----	-----	---	-----	---	-----	-------

### 1 目標

近代以降の文章について、読解・鑑賞・読書の方法を習得し、ものの見方・考え方を深め、表現力を高める。

### 2 到達目標

論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。

文学的な文章について、人物・風景・心情などを的確にとらえ、表現を味わう。

様々な文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。

語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。

目的や課題に応じて様々な情報を収集し、活用して、進んで表現する。

### 3 成績評価の方法

定期考査の成績と小テスト、読書感想文等の提出物、授業への出席状況や授業態度を総合的に評価する。

### 4 学習者へのメッセージ

人間は道具を用いて道具を作るところに人間たる所以があるといわれます。基礎的な学力をつけること。それを用いて思索を深めること、表現することにつなげていきましょう。

漢字や語句の勉強を疎かにしない。様々な文章に触れて思索の糧とする。文章の構成の仕方を学び、それを用いて文章を書く。自分の普段読まないようなジャンルや難しさの文章にチャレンジして、飛躍の年にして下さい。

### 5 使用教材

教科書「現代文」(第一学習社)

副教材「国語便覧」(数研出版)

### 6 自己評価

1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [ ] [ ] [ ]

課題

A：十分，達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

月	単元(章,節など)	重点目標
4 ~ 5	随想「木のぬくもり」  評論「手の変幻」	・筆者の価値観や発想の独自性を知り、現代社会で一般的とされている価値観との違いを知る。  ・論理的な文章の構成を知り、論旨を把握する読解力を習得する。・抽象的概念を具体的・日常的なものに関連づける方法を知る。
1 学 期 中 間 考 査		
6 ~ 7	小説「山月記」	・短編小説の構成を理解し、鑑賞の仕方を学ぶ。 ・現実離れした寓話を通して追求されている主題の普遍性を把握する。 ・難読語や漢文訓読調の文に慣れ、その奥深さを味わう。
1 学 期 期 末 考 査		
9 ~ 10	詩「そこに一つの席が」  評論「自分・この不思議な存在」  評論「機械を通して人間が見えてくるとき」	・詩のリズムや韻律を感じる。 ・比喩構造を分析する方法を知る。  ・文章全体の論理的な枠組みを知る。 ・現代社会の中で「自己」はどのように存在するのか、「自己」と身体の関係についてなどを考える。  ・労働を通して自己を知るといこと、労働において人間性を失うことの恐ろしさを考える。
2 学 期 中 間 考 査		
11 ~ 12	評論「道具と文化」  明治の文章「みづの上日記」  短歌－戦争を詠んだ短歌	・疑問と答え、反問と論証という論理的文章の組み立てを理解する。 ・人間とは何かという根元的な命題について考えを深める。  ・明治の文語文に親しむ。 ・日記を通して明治時代の文壇を知る。また、明治時代の女性に対する評価を考える。  ・戦争を詠んだ短歌を通して戦争は最大の人権侵害であるということを考える。
2 学 期 期 末 考 査		
1 ~ 3	小説「こころ」	・小説を主体的に読む方法を知る。 ・小説の提起する問題の中に人間に共通するものをとらえて、生き方への思索を深めていく。
学 年 末 考 査		

